

学校だより



二 中 の 風

校訓 真実の一日 誠実の一日 充実の一日

令和5年度
八代市立第二中学校
令和6年1月25日
第9号 文責 里永典隆

令和6年（2024年）、今年もよろしくお祈りします

新しい年が始まりました。本年もよろしくお祈りいたします。年末年始はいかがだったでしょうか。新年早々、石川県能登半島を震源とする大地震と津波の発生による大きな被害、羽田空港で発生した航空機衝突炎上事故など心が痛む災害や事故が発生しました。始業式の講話でもこれらのことに触れ、地震を含め、災害はいつ起こるか分からない、平成28年に発生した熊本地震で学んだことを忘れることなく意識した生活をして欲しいこと、航空機事故についてはあれだけの惨事にもかかわらず、350人を超える乗客が1人の犠牲者を出すことなく脱出できたことは、客室乗務員の皆さんの的確かつ冷静な脱出誘導にあったと言われており、日頃からの訓練の大切さを再認識して欲しいということなどについて話しました。また、3学期は年間のまとめの学期であり、新しい学年の0学期であることにもふれました。3学期が充実したものとなり、次のステップへスムーズに進むことができるよう取り組んで欲しいと思います。



新年にあたり今年1年間の目標を立て、その目標達成に向け、成長していくとともに、4月からの進学・進級に向けての準備の学期として取り組んでほしいと思います。3年生はいよいよ受験本番。自分の進路目標達成に向け頑張りましょう。

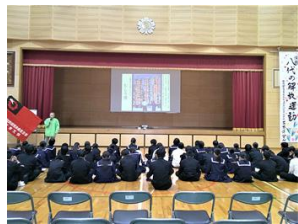
まだまだ、新型コロナウイルス、インフルエンザに注意を！

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染状況は一時期よりも減少していますが、まだ安心はできません。引き続き感染予防をしっかりと意識した生活を送って欲しいと思います。予防のためには、換気、手洗い、うがい、マスクの着用、栄養のある食物をしっかりとること、睡眠と休養をしっかりと、体力をつけることなど基本的なことをしっかりと継続していくしかありません。3年生は受験シーズン真っ直中。私立高校専願・特待入試は終わりましたが、これからさらに、公立高校前期特色選抜、私立一般入試、公立高校後期一般選抜と続いていきます。健康に留意した生活を送ってほしいと思います。また、1、2年生も3年生が万全の体制で入試に臨めるように、自らの健康に留意した生活を送っていきましょう。

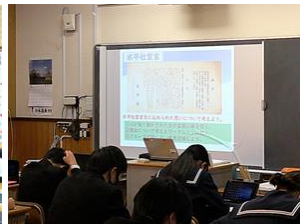
授業参観、PTA年度末総会について

2月9日（金）に、授業参観、PTA総会及び学年懇談会を実施します。詳しくは、別途ご案内の文書をお送りしていますのでご確認ください。1年生は教科の授業、2年生は各クラス立志式、3年生は「性教育」親子講演会を行います。その後、学年・学級懇談会となります。

12月8日に実施した授業参観では、人権同和教育の学習を参観していただきました。1年生は「八代の解放運動」の一環で吉本洋一部落解放同盟八代支部長の講話を聞きました。2年生は「水平社宣言」について学習しました。昨年は1923年に熊本県に水平社が設立され100年という節目の年でした。3年生はこれから受験を迎えるに当たり、「美子のたたかい」という題材を使い、面接での不適切質問と就職差別の学習を行いました。差別は絶対に許されるものではなく、知らないことが新たな差別を生むことにつながります。正しい知識を持つとともに、差別を見抜き、差別を許さないという力を身に付けてほしいと思います。自分の人権を守るとともに他の人の人権を守るということを考え、これからの生活を送ってほしいと思います。



【1年生「八代の解放運動」】



【2年生「水平社宣言」】



【3年生「美子のたたかい」】

卒業式の期日について

本年度、3年生卒業式の期日は、3月8日（金）に決定しました。前日7日が3年生修了式、翌週13日（水）が公立高校合格発表となっています。詳しくは、後日、関係の皆様にご案内いたします。

楽しい学校生活を送るために！！ 『心のアンケート』結果集計より

昨年12月に実施した『心のアンケート』の主な結果について、お知らせします。

1 「学校生活は楽しいですか」

学校生活が「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した生徒は、回答した生徒数391人中350人、89.5%という状況でした。しかし、13人、3.3%の生徒が「学校が楽しくない」と回答しています。理由は学習面や人間関係など様々ですが、すべての生徒が楽しく学校生活を送ることができるように取り組んでいきたいと考えています。

2 「学校の授業はよくわかりますか」

授業について「よくわかる」「まあまあわかる」と回答した生徒は、391人中288人で73.7%という状況でした。学校では、「誰一人取り残さない学びの保障」「教職員一人一人の授業力の向上」「ICT機器の活用」を進めています。さらにわかる授業づくりに向けての授業改善への取組やタブレットを効果的に活用した授業づくりを進めています。本校の学力の状況として、12月に実施した熊本県学力・学習状況調査結果については、次の学校だよりでお知らせします。

3 「いじめられたことはありますか」

本年度になって、「いじめられたことがある」と回答した生徒は13人で、昨年より11名減少しました。内容は「言いがかり、おどし」「冷やかし、からかい」というものが中心でした。10人は「現在は続いている、解決した」と回答していますが、3名はまだ続いていると回答しています。現在、解決に向けての対応しているところです。学校は集団生活を送る場ですので、人間関係のトラブルや意見の食い違いが生じることは必ずあります。その中で、みんなで協力して解決していく力を身に付けていくことが大切です。このことが社会に出たとき、社会人として生活していく時に大きな力となっていきます。困ったり悩んだりした時は一人で抱え込まず誰かに相談すること、困ったり悩んだりしている人を見たときにはしっかりと寄り添うことなど、思いやりのある中学生に育てていきたいと思えます。

4 「自由に使える情報通信機器をもっていますか」

338人、86.4%の人がスマートフォン又は携帯電話を所有しています。それにパソコン、ゲーム機などの情報通信機器を加えると全生徒391人中352人、90.0%の人がSNS等を行うことができる環境にあるといえます。種類としては多い順に①「スマートフォン」307人（78.5%）、②「ゲーム機」249人（63.9%）、③「タブレット」105人（26.9%）でした。所有している生徒のうち「使用についての家庭での決まりがある」と回答した生徒は218人、61.9%で、決まりがなく自由に使っている家庭が4割ほどあります。また、個人情報やネット上に載せたことがあると回答した生徒が15人、仲間外しをしたと回答した生徒も1人いました。1日の使用時間で最も多かったのが「3時間以上使用する」の119人、30.4%で全校生徒の3割にあたります。基本的な生活習慣の確立や家庭学習の時間確保に大きく影響するのが情報通信機器の活用時間です。SNS等に関する大きなトラブルも発生しています。ご家庭でも生活リズムの確立と正しい情報通信機器の利用について親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思えます。

5 「自分は誰かの役に立っていると思いますか」

自己有用感についての質問ですが、「役に立っている」「少しはある役に立っている」と回答した生徒は、391人中253人で、64.7%という状況でした。中学生は生徒会活動や朝のボランティア活動、あいさつ運動など積極的に活動しており、とても頑張っているという印象を持っていますが、「全く役に立っていない」と回答した生徒も32人（8.2%）おり、気になるところです。生徒会活動を中心に、特色ある体験活動を進めたり、ボランティア活動を実施したりするなどして自己有用感を感じることができる活動をこれからも積極的に実施していきます。

学校では今回の『心のアンケート』以外にも各学期に教育相談期間を設定し、事前アンケートを実施して一人一人と相談する時間を設けています。また、スクールカウンセラーが配置され、定期的に来校していますのでご相談いただければと思います。カウンセラーへの面談希望がありましたら、各担任または養護教諭にご連絡ください。また、各ご家庭でお子様と話をする中で気になることなどがございましたら、学校へ連絡していただければ幸いです。家庭と学校がしっかりと連携して、子供たちの健やかな成長に繋げていければと考えています。